



令和5年度
学校だより

吉井小学校だより

輝くよしいっ子 6月

29日 第17号
文責：小西貴仁

楽焼制作を行いました。

6月27日(火) 1年生から6年生までの全校で楽焼の制作をしました。
1時間目は、1年生と2年生、2時間目は、3年生、3時間目は、4年生と5年生、
4時間目は、6年生が行いました。それぞれの学年の楽焼テーマです。

1年生は、「ふしぎな動物」
2年生は、「大きな口をあけた魚」
3年生は、「オリジナルシューズ」
4年生は、「土鈴」
5年生は、「ふたのついた入れ物」
6年生は、「シーサー(テラコッタ)」



1年生にとっては、初めての楽焼の制作でした。1年生の様子を少し紹介します。私が小学生の頃(ずいぶん昔のことですが)、楽焼粘土の制作では、まずは、粘土が柔らかくなるまでしっかりこねていましたが、楽焼指導に来てくださった三井さんにお聞きすると、「こねすぎると粘土の中に空気が入ることがあり、そのことで焼いていると割れてしまうことがあります。機械で柔らかくしているの、最近あまり粘土をこねなくてもよくなりました。」と教えてくださいました。

まず、1年生の子どもたちは、袋から粘土を取り出し、粘土をしっかり持って粘土の大きな塊から動物の体の部分を指でひねり出していました。最初は、少し粘土が大きくてなかなか思うようにできず、動物の顔や足、手などをひねり出すことに苦勞していました。少しすると慣れてきたのか、要領よく自分がつくりたい動物の形をイメージしながら、思い思いに楽しそうにつくっていました。いつもは元気に楽しく話をしている1年生ですが、つくっている時は、集中しているようで、真剣な表情で誰一人お話をしていませんでした。作り終わった感想を聞いてみると、「はじめて楽焼をして楽しかった。」や「粘土でつくるのがおもしろかった。」など、自分がイメージした動物をつくることができたようで、みんな満足していました。

また、2年生から6年生の子どもたちの楽焼をつくっている様子を見に行きましたが、それぞれに学年のテーマに合った楽焼粘土の作品を集中しながら楽しそうに制作し、完成した作品を友達と見合っ感想を伝え合っている姿がありました。

<楽焼づくりの様子を少し紹介します。>



<1年生>



<2年生>



<3年生>



<4年生>



<5年生>



<6年生>

※お子さんがどのようにして楽焼粘土を制作したのか、ご家庭でもお話を聞いてみてください。

